

2010年度  
 中等部入学試験問題  
 社 会  
 (30分間)

【注 意】

1. 問題は、〔Ⅰ〕から〔Ⅲ〕までです。
2. 解答は、すべて別紙の解答用紙に記入しなさい。
3. 解答は、とくに指示がない限り、正しい漢字を使って答えなさい。

【注意】 受験番号は、算用数字で横書きにすること。

| 受 験 番 号 |  |  |  |  |
|---------|--|--|--|--|
|         |  |  |  |  |

|        |  |
|--------|--|
| 氏<br>名 |  |
|--------|--|

〔Ⅰ〕 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

日本の国会には衆議院と参議院があり、そのうち解散があるのは衆議院だけです。一昨年より、衆議院がいつ解散されるのが話題となっていました。結局、<sup>A</sup>任期満了直前の昨年7月21日に、衆議院は当時の首相であった①氏によって解散され、<sup>B</sup>8月30日に衆議院議員の総選挙が行なわれました。その結果は、<sup>C</sup>民主党が議員定数の過半数を圧倒的に超える308議席を獲得し、それまで<sup>A</sup>党であった自由民主党と<sup>I</sup>党であった民主党の立場が逆転することになりました。「政権選択選挙」とも呼ばれていたこの総選挙ですが、その意味で国民は、自由民主党ではなく民主党の<sup>D</sup>マニフェストを選んだということになるかもしれません。

<sup>E</sup>その直後に開かれた国会では、民主党の党首である②氏が新しい首相に選ばれました。そしてその首相が新しい国務大臣たちを決めていきましたが、その中には民主党以外の政党から選ばれた人たちもいました。つまり、<sup>F</sup>その内閣は民主党とその他2つの政党との連立政権になったわけです。今までと違った新しい日本の政治から目が離せないところだと思います。

ところで今回の総選挙では、投票率が前回よりも上がったことや、若い世代が政治に注目するようになったことも指摘されています。<sup>G</sup>まだ選挙権のない君たちですが、「自分の一票が日本の将来を決めることになるのだ」という気持ちを持って、これからの勉強にも励んでいってください。

問1 ①と②に入る人物の姓名をそれぞれ答えなさい。

問2 <sup>A</sup>と<sup>I</sup>に入る漢字1字をそれぞれ答えなさい。

問3 下線部<sup>A</sup>を参考にして、前回の総選挙が何年に行われたかを西暦で答えなさい。

問4 下線部<sup>B</sup>の「総選挙」という呼び方は、衆議院議員選挙の時だけで参議院議員選挙の時は使いません。その理由を簡単に説明しなさい。

問5 下線部<sup>C</sup>の「議員定数の過半数」とは何人以上を指しますか。数字で答えなさい。

問6 下線部<sup>D</sup>について、次の<sup>A</sup>～<sup>カ</sup>の中から民主党のマニフェストの中にふくまれないものを2つ選び、記号で答えなさい。

<sup>A</sup>. 消費税の税率を下げる。  
<sup>イ</sup>. 高速道路の通行料を無料にする。  
<sup>ウ</sup>. 公立高校の授業料を実質無償化する。  
<sup>エ</sup>. 中学生までの子供に手当てを支給する。  
<sup>オ</sup>. エコカーを買った場合、税金を減額する。  
<sup>カ</sup>. 官僚主導から政治家主導の政治に変える。

問7 下線部<sup>E</sup>の国会は何という国会でしたか。その国会の種類を答えなさい。

問8 下線部<sup>F</sup>にある「2つの政党」とは何という政党ですか。次の<sup>A</sup>～<sup>オ</sup>の中から正しい組み合わせを1つ選び、記号で答えなさい。

- <sup>A</sup>. 社会民主党と共産党  
<sup>イ</sup>. 国民新党と公明党  
<sup>ウ</sup>. 自由民主党と公明党  
<sup>エ</sup>. 共産党と国民新党  
<sup>オ</sup>. 国民新党と社会民主党

問9 下線部<sup>G</sup>について、選挙権を与える年齢を18才に下げるという議論がされていますが、まだ結論は出ていません。それは、社会に与える影響が大きいと考えられるからです。その影響について、簡単に説明しなさい。

〔Ⅱ〕 次の文章の<sup>A</sup>～<sup>D</sup>にあてはまる語句を入れ、以下の問いに答えなさい。<sup>B</sup>～<sup>D</sup>は、それぞれ漢字4字で答えなさい。

昨年、<sup>1</sup>9月1日、気象庁は「今年の夏は、全国的に日照時間が短かった」と発表しました。8月の平均日照時間はいつもの年と比べて、関東甲信地方では87%しかなく、沖縄・奄美地方を除き全国的に最大25%程度の減少だったそうです。みなさんの中にも、昨年の夏は比較的過ごしやすかったと感じた人は多いのではないのでしょうか。

気象庁によると、昨年の夏は<sup>A</sup>高気圧の張り出しが弱く、特に7月下旬から8月上旬にかけては、雨やぐもりの日が多く気温もいつもの年を下回る日が続きました。関東甲信地方では、8月の平均気温はいつもの年と比べて0.4℃低く、降水量は121%でした。このため、夏から秋にかけては野菜の値段がやや高めとなりました。<sup>2</sup>米の生育も心配されましたが、1993年の大凶作のときのようなことにはならずにすみました。

また、昨年の夏は豪雨のために大きな被害が発生した年でもありました。7月後半には、「中国・九州北部豪雨」によって、<sup>3</sup>山口県防府市では<sup>4</sup>高齢者福祉施設が<sup>5</sup>土石流に埋まるなどの被害がありました。この豪雨は、<sup>B</sup>に向かって南から非常に湿った空気が流れ込み、<sup>B</sup>の活動が活発化したことによるものです。8月にも、中国地方を中心に台風にとまなう豪雨被害が相次ぎました。

そして、8月11日明け方には、今後数十年のうちに高い確率で発生するとされている<sup>6</sup><sup>C</sup>の震源域と考えられている地域の中で、マグニチュード6.5の地震が起きました。今回の地震では<sup>D</sup>道路の一部の路面がくずれ、お盆の帰省に大きな影響が及びました。原因を調べていた検討委員会は、「水分をふくみ劣化しやすい泥岩が盛り土に使われ、長年の間に水が浸透し、強度が低下していたことが原因とみられる」と発表しました。

このように、日本はさまざまな自然災害に見舞われる国ではありますが、<sup>7</sup>それぞれの地域では、その予測される災害に対するさまざまな工夫がみられます。私たちも、日ごろから災害に対する心構えをきちんとしておきたいものです。

問1 下線部<sup>1</sup>について、この日はある災害のおこった日であることから、「防災の日」に指定されています。その災害のおこった年を西暦で答えなさい。

問2 下線部<sup>2</sup>について、次の表1は昨年の米の作況指数（いつもの年の単位面積あたりの収穫量を100としたときの、その年の単位面積あたりの収穫量の割合）で「不良」（～94）、「やや不良」（95～98）とされた都道府県と、それらの都道府県の農業産出額の割合を示したものです。これをみて、以下の①・②の問いに答えなさい。

表1 2009年産水稻作況指数と2006年のおもな農業産出額

|     | 作況指数<br>(2009年) | 農業産出額の割合 (2006年、%) |      |      |      |      |
|-----|-----------------|--------------------|------|------|------|------|
|     |                 | 米                  | 野菜   | 果物   | 畜産   | その他  |
| 全国  | 98              | 21.9               | 24.8 | 9.1  | 29.2 | 15.0 |
| <1> | 89              | 11.1               | 16.3 | 0.6  | 46.7 | 25.3 |
| 岐阜  | 94              | 21.7               | 28.1 | 4.9  | 35.4 | 9.9  |
| 鳥取  | 94              | 23.4               | 24.7 | 11.2 | 32.1 | 8.6  |
| <2> | 95              | 26.9               | 34.9 | 2.7  | 17.3 | 18.2 |
| <3> | 96              | 8.4                | 13.3 | 61.8 | 9.0  | 7.5  |
| 長野  | 96              | 21.1               | 28.9 | 22.9 | 13.4 | 13.7 |
| 三重  | 96              | 29.1               | 13.9 | 7.8  | 29.3 | 19.9 |
| 鳥根  | 96              | 38.2               | 15.2 | 6.2  | 32.5 | 7.9  |
| <4> | 97              | 68.3               | 11.9 | 2.2  | 8.7  | 8.9  |
| 静岡  | 97              | 8.6                | 24.8 | 13.7 | 17.2 | 35.7 |
| 石川  | 98              | 56.1               | 15.3 | 3.7  | 16.6 | 8.3  |
| 愛知  | 98              | 10.6               | 30.1 | 6.5  | 25.2 | 27.6 |
| 兵庫  | 98              | 31.3               | 25.3 | 2.1  | 33.0 | 8.3  |

資料：農林水産省大臣官房統計部 「地理統計要覧2009年度」二宮書店

① <1>～<4>の都道府県は、それぞれどこですか。次のア～エの中から正しい組み合わせを1つ選び、記号で答えなさい。

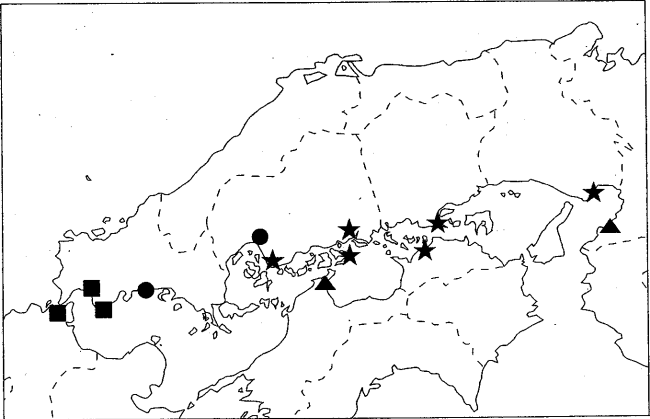
|   | <1> | <2> | <3> | <4> |
|---|-----|-----|-----|-----|
| ア | 北海道 | 京都  | 山梨  | 福井  |
| イ | 福井  | 山梨  | 北海道 | 京都  |
| ウ | 山梨  | 福井  | 京都  | 北海道 |
| エ | 京都  | 北海道 | 福井  | 山梨  |

② 表1に示されている13都道府県は、次のア～オのどれにあてはまるものが多いですか。1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 太平洋だけに面している。
- イ. 日本海だけに面している。
- ウ. 太平洋・日本海の両方に面している。
- エ. 瀬戸内海だけに面している。
- オ. 内陸に位置している。

問3 下線部3について、この市をふくむ地域のおもな工業のようすを表した右の地図の記号の説明として、正しい組み合わせを次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

|   | ●    | ▲    | ■    | ★    |
|---|------|------|------|------|
| ア | 造船   | セメント | せんい  | 自動車  |
| イ | せんい  | 造船   | 自動車  | セメント |
| ウ | 自動車  | せんい  | セメント | 造船   |
| エ | セメント | 自動車  | 造船   | せんい  |



問4 下線部4について、現在日本では高齢化が進んでいますが、このような施設に関連してどのような問題がおこっているかを簡単に説明しなさい。

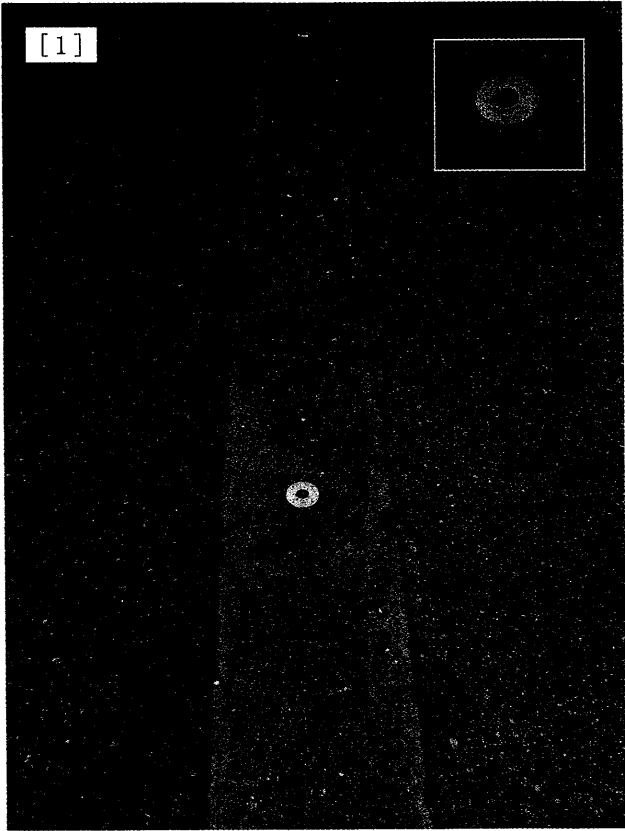
問5 下線部5について、「土石流」とはどのような災害ですか。次のア～エの中からあてはまるものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 泥・砂・岩などが、水とともに高速で流れる現象。
- イ. 川などから水があふれ出し、家や田畑を押し流す現象。
- ウ. 山の斜面が急激にくずれる現象。
- エ. 海水面が平常より高くなる現象。

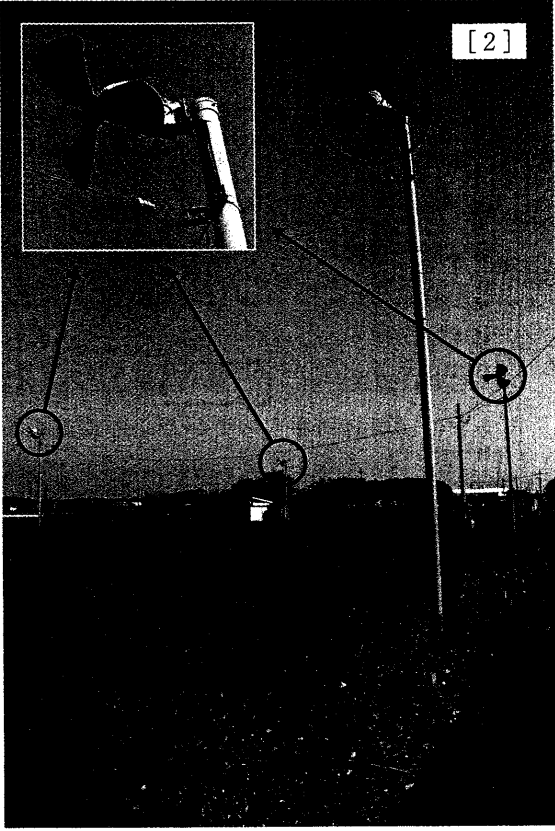
問6 下線部6に関連して、2004年12月にインドネシアで、また昨年9月にサモアでおこった地震では、津波が大きな被害を与えました。津波は、地震がどのような場所でおこったときに発生するとされていますか。次のア～エの中から、正しいものを1つ選んで記号で答えなさい。

- ア. 陸地の地下の浅い部分
- イ. 陸地の地下の深さ100km以上の部分
- ウ. 海底の地下の浅い部分
- エ. 海底の地下の深さ100km以上の部分

問7 下線部7について、次の[1]・[2]の写真はどのような災害に対する工夫(備え)ですか。それぞれ災害名をあげ、どのようにしてその災害を防いでいるかを簡単に説明しなさい。



道路の中央に小さな穴がつけられている。



農地は茶畑である。

〔Ⅲ〕 次の文章は、作家の司馬遼太郎さんが1968年6月<sup>（注1）</sup>に発表した『故郷忘じがたく候』という小説の一部です。この題名は、「故郷は忘れられないものでございます」という意味で、この小説は、ある歴史上のできごとをふまえて書かかれています。この文章を読み、以下の問いに答えなさい。

そこに武家門がある。<sup>（注2）</sup>「沈寿官」と表札があがっている。鹿児島旧<sup>a</sup>士族沈寿官家はその韓国ふうの姓名が世襲であり、戸籍名であり、むろんいまの第十四代目の当主もその名なのである。村には沈氏のほかに朴氏があり、金氏がある。さらに鄭氏があり、李氏があり、それにつけてもこの村びとの驚嘆すべき頑固さは、<sup>（注3）</sup> **A** 年前に朝鮮南原城でとらえられ、拉致され<sup>（注4）</sup>、ついにはこの薩摩につれて来られて帰化せしめられ<sup>（注5）</sup>て以来、江戸時代からこんにちにいたるまでついにその姓名を変えようとしていないことであった。

<中略>

これは想像だが、<sup>（注6）</sup> **B** 勢はこの全羅道<sup>（注7）</sup>の文化の中心である南原城を攻撃するにあたって、最初から、特別な意図をもっていただようにおもわれる。陶磁の工人を捕獲することであった。この奇抜な着想は<sup>（注8）</sup> **B** の独創によるものか、それとも他の九州の大名がそれを行ったのをまねたのか、とにかく城内に突入しつづ工人をさがすことに意を用いたに相違ない。

当時、日本の貴族、武将、富商のあいだで茶道が隆盛している。茶器はとくに渡来物が珍重され、たとえば韓人が日常の飯盛茶碗にしている程度のものが日本に入り、<sup>（注9）</sup> **C** などの茶頭<sup>（注10）</sup>の折り紙がつくことによって千金の価をよび、<sup>（注11）</sup> **b** この国にきた南蛮人たちが、「ちょうどヨーロッパにおける宝石のような扱いをうけている」と驚嘆するまでになっている。ときに茶器は武功の恩賞としてあたえられた。一国に相当する茶器まであらわれた。

<sup>（注12）</sup> **B** 勢は、そういう時代の流行のなかで朝鮮に討ち入っている。宝の山に入ったような思いであったであろう。しかもこの宝というのは素材はといえば土と火であるにすぎず、土と火からそれを生まれしめる<sup>（注13）</sup>（注5）工人こそいわば錬金術師<sup>（注14）</sup>（注6）であった。

<中略>

土器というのは窯を築かず、地面で火をおこし、その火で、ちょうど魚でもあぶるように粘土でひねったものをあぶる。もっとも、土器よりもやや進歩した須恵器のたぐいはむろんつくられていたにちがいないが、いずれにせよ、粗笨<sup>（注15）</sup>（注7）なやきものにかけては薩摩は、古墳時代から少しの進歩もなく、あの華麗な釉薬<sup>（注16）</sup>（注8）をかけて強度の火力で化学変化をおこさしめ<sup>（注17）</sup>（注9）玉に似た膚質<sup>（注18）</sup>（注10）をつくるという製陶にかけては未開人も同様であった。

とにかく、朴、黄、羅、燕……といった連中はとらえられた。沈氏の先祖もいた。沈氏の先祖は技術者であったかどうか。王家の外戚<sup>（注19）</sup>（注11）にあたっていたというから工人というよりもこの国でいう公卿のようなものであったか、しかし廷臣として製陶の司でもしていたのかもしれない。

〔注1〕 拉致され：むりにつれてこられ。

〔注2〕 帰化せしめられ：日本人にさせられ。

〔注3〕 全羅道：朝鮮半島南西部を占める行政区分。全羅北道と全羅南道がある。

〔注4〕 茶頭：茶の湯を担当する者。

〔注5〕 生まれしめる：生まれさせる。

〔注6〕 錬金術師：普通の金属類を金・銀などの貴金属に変化させようとした技術者。

〔注7〕 粗笨：粗雑。細かく行き届いていないこと。

〔注8〕 釉薬：素焼きの陶磁器の表面に塗ってつやを出したり液体のしみ込むのを防ぐガラス質の粉。

〔注9〕 おこさしめ：おこさせ。

〔注10〕 膚質：表面の性質。

〔注11〕 外戚：母方の親戚。

〔出典：司馬遼太郎『故郷忘じがたく候』文春文庫、2008（新装版第8刷）による。ただし、漢字のよみがなは引用者が加えたものもふくむ。また、〔注1〕～〔注11〕は、引用者が加えたものである。〕

問1 文章中の **A** にあてはまる数字を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア. 270      イ. 370      ウ. 470      エ. 570

問2 文章中の **B** にあてはまる薩摩藩の家の名（姓）を答えなさい。

問3 文章中の **C** にはこの時代にわび茶という茶道（茶の湯）を完成した人物名が入りますが、その人物名を漢字3字で答えなさい。

問4 沈寿官氏の先祖がつれてこられた時の日本や朝鮮の社会の説明として正しいものを、次のア～オの中からすべて選び記号で答えなさい。

ア. 日本が支配して土地制度を変えたため、土地を失った人々のなかには、日本人の地主の小作人になったり、仕事を求めて日本に渡った人も少なくなかった。

イ. 農民から刀、やり、鉄砲などを取り上げ、一揆をおこさせないようにした。

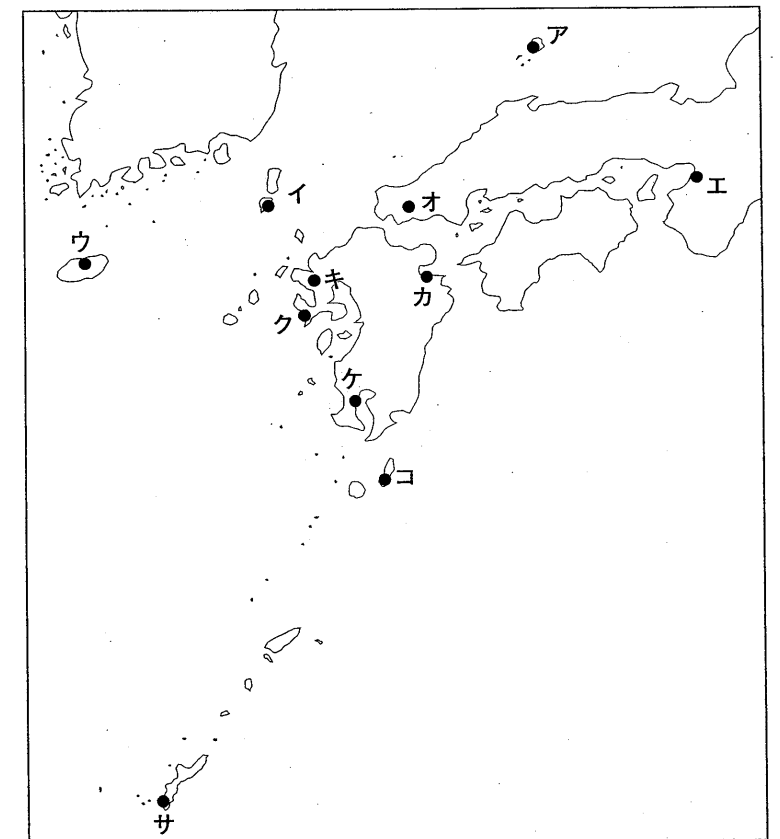
ウ. 儒教だけでなく蘭学や国学がさかんになり、ものごとを合理的に考えるようになると、人々の間に身分差別のきびしい社会や政治を批判する声が高まってきた。

エ. 外国勢力から国土を守るために、九州地域の武士や農民を使って、海岸に石のいを築いた。

オ. ものさしを統一し、田畑の面積やよしあしを調べ、その土地を耕作する農民に税を払わせるようにした。

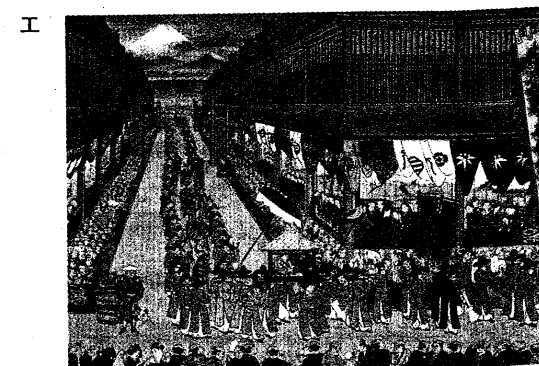
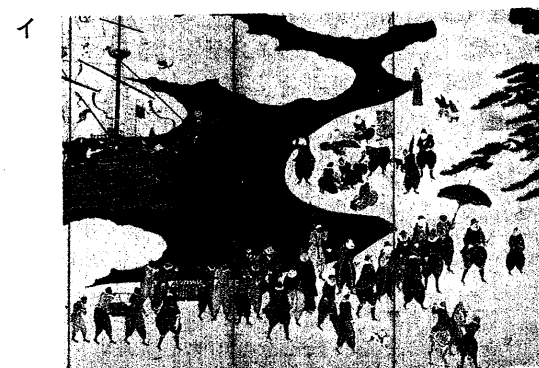
問5 沈寿官氏の先祖がつれてこられた戦争の際に、朝鮮に兵士や軍需品などを輸送する日本側の基地（拠点の城）がつくられましたが、その近くでも、朝鮮からつれてこられた人々によって、薩摩と同様に特徴ある特産物がつくれ、やがてヨーロッパにも輸出されるようになりました。

現在も伝統工芸品としてさかんにつくられているその特産物の産地は次の地図上のア～サのどこですか。記号で答えなさい。また、その産地の地名を漢字2字で答えなさい。



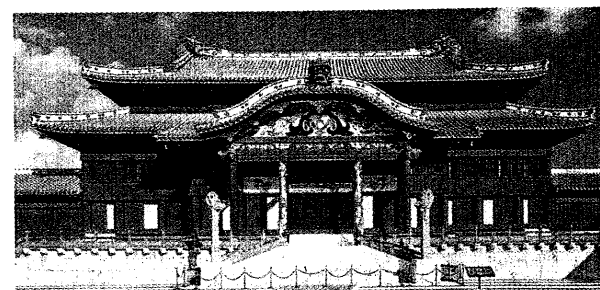
問6 沈寿官氏の先祖がつれてこられた時の戦争が原因で、朝鮮と日本の外交（国と国との正式なおつきあい）は一時断絶しましたが、やがて両国の外交関係は復活し、朝鮮から使節が遣わされるようになりました。朝鮮からの使節の最初の3回は、日本につれてこられた人々を帰国させるために遣わされ、1700人ほどの人々が帰国しました。また、4回目からは友好関係を築くための使節が遣わされてきました。その4回目以降の使節について、以下の①～③に答えなさい。

- ① その使節を何と呼んでいますか。それを漢字5字で答えなさい。また、その使節を表している絵は次のア～エのどれですか。記号で答えなさい。



- ② その使節は、どのような時（機会）に遣わされてきましたか。簡単に答えなさい。  
③ その使節のもてなしを中心となっておこなったり、朝鮮との外交・貿易の管理をまかされていたのはどこの大名ですか。その大名の藩名を答えなさい。また、その大名の位置は問5の地図上のどこですか。記号で答えなさい。

問7 日本に問6の使節が来るようになったころ、薩摩は、次の2枚の写真の宮城をもつ国を征服しました。その征服された国について、以下の①・②に答えなさい。



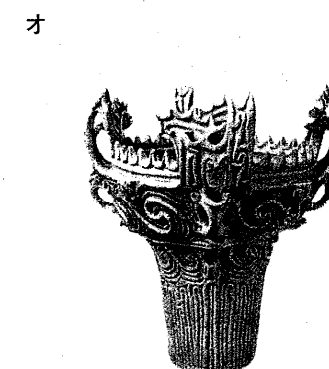
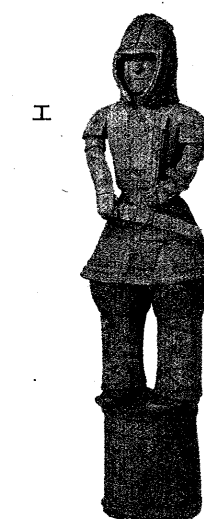
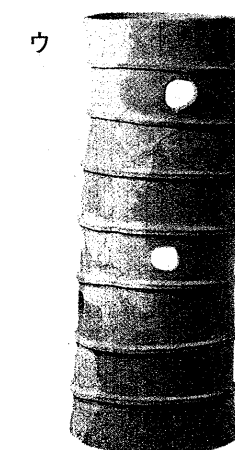
- ① その国名を答えなさい。また、そこは問5の地図上のどこですか。記号で答えなさい。  
② 征服された後のその国の外交関係の説明として、正しいものを次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。  
ア. それまで明に従う関係で使節を遣わしていたが、それを止め、幕府にのみ従う関係になった。  
イ. 明に従う関係で使節を遣わしながら、幕府にも従う関係で使節を遣わすようになった。  
ウ. 明には対等の関係で使節を遣わし、幕府には従う関係で使節を遣わすようになった。  
エ. 幕府からの使節を明に、明からの使節を幕府に案内し、両国を結びつける役割をはたすようになった。

問8 文章中の下線部aについて、以下の①～③に答えなさい。

- ① 士族という身分が定められた時、士族の下に設けられた身分名を答えなさい。  
② この身分制度が定められた時代に、当時の政治に不満をいだく士族たちをひきいて、鹿児島で大規模な反乱を起こした人物の姓名を答えなさい。  
③ ②の人物は、政府の高官であった時、日本との外交を拒む朝鮮を、軍隊を使ってでも開国させようと主張しました。この考え方を何と呼ぶか答えなさい。

問9 文章中の下線部bの南蛮人などによって日本にさかんに輸入された中国産の品物であり、逆に幕末には日本から一番多く輸出された品物を答えなさい。

問10 文章中の下線部cの古墳の表面には、土で作った様々な形の製品が並べられていましたが、これらを何とといいますか。ひらがな3字で答えなさい。また、それは次のア～オのどれですか。あてはまるものをすべて記号で答えなさい。



【写真の出典】

【Ⅲ】『新詳日本史』浜島書店

『日本史総覧』東京法令出版

『ビジュアルワイド図説日本史』東京書籍

〔以下余白〕

|   |  |
|---|--|
| 氏 |  |
| 名 |  |

【注意】 ① 受験番号は、算用数字で横書きにすること。  
② あみかけの部分には、何も書かないこと。

|         |  |  |  |  |
|---------|--|--|--|--|
| 受 験 番 号 |  |  |  |  |
|         |  |  |  |  |

2010年度 中等部入学試験解答用紙

社 会

〔Ⅰ〕

|     |     |     |     |   |
|-----|-----|-----|-----|---|
| 問 1 | ①   | ②   |     |   |
| 問 2 | ア   | イ   | 問 3 | 年 |
| 問 4 |     |     |     |   |
| 問 5 | 人以上 | 問 6 |     |   |
| 問 7 | 国会  | 問 8 |     |   |
| 問 9 |     |     |     |   |

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

以下のらんには  
何も書かないこと  
↓

|  |
|--|
|  |
|--|

〔Ⅱ〕

|     |         |     |   |   |     |  |   |  |  |  |  |  |   |  |  |  |  |
|-----|---------|-----|---|---|-----|--|---|--|--|--|--|--|---|--|--|--|--|
| A   |         | B   |   |   |     |  | C |  |  |  |  |  | D |  |  |  |  |
| 問 1 | 年       | 問 2 | ① | ② | 問 3 |  |   |  |  |  |  |  |   |  |  |  |  |
| 問 4 |         |     |   |   |     |  |   |  |  |  |  |  |   |  |  |  |  |
| 問 5 |         | 問 6 |   |   |     |  |   |  |  |  |  |  |   |  |  |  |  |
| 問 7 | [1] 災害名 | 説明  |   |   |     |  |   |  |  |  |  |  |   |  |  |  |  |
|     | [2] 災害名 | 説明  |   |   |     |  |   |  |  |  |  |  |   |  |  |  |  |

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

|  |
|--|
|  |
|--|

〔Ⅲ〕

|     |   |     |    |     |    |
|-----|---|-----|----|-----|----|
| 問 1 |   | 問 2 |    | 問 3 |    |
| 問 4 |   | 問 5 | 記号 | 地名  |    |
| 問 6 | ① |     |    |     | 記号 |
|     | ② |     |    |     |    |
|     | ③ | 藩   | 記号 |     |    |
| 問 7 | ① | 記号  | ②  |     |    |
| 問 8 | ① | ②   | ③  |     |    |
| 問 9 |   | 問10 |    |     | 記号 |

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

|  |
|--|
|  |
|--|